

しりべし経済レポート

Vol.110
(令和6年2月発行)



財務省 北海道財務局 小樽出張所

URL <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/otaru/index.html>

希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

目 次

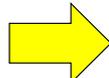
総括判断	1
個人消費	2
観 光	4
住宅建設	6
公共工事	7
生 産	7
雇 用	8
【参考】	
金 融	9
企業倒産	10

＝利用に当たっての注意＝

- ・数字の単位未満は原則として四捨五入としているため、合計と内訳の計、表中記載の前年比と表上での算出前年比が一致しない場合がある。
- ・本指標は本レポート発行時に公表されているデータを基に作成しており、原則としてその後のデータ提供先による修正を反映していない。

1. 【令和5年10月～12月期 総括判断】

管内経済は、持ち直している

	前回 (5.7～9期)	今回 (5.10～12期)	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

2. 【各項目の判断】

	前回 (5.7～9期)	今回 (5.10～12期)	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある	
観光	持ち直している	持ち直している	
住宅建設	持ち直しの動きに一服感がみられる	持ち直しの動きに一服感がみられる	
公共工事	前年を上回る	前年を上回る	
生産	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

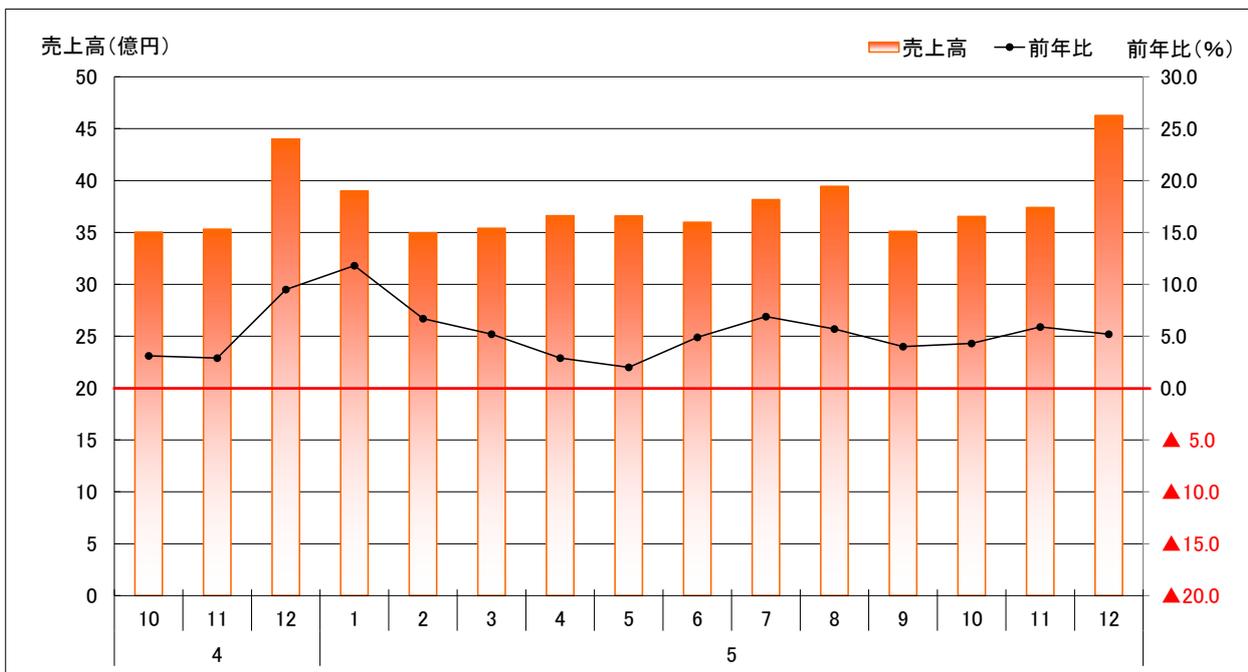
【個人消費】

持ち直しつつある

主要小売店売上高は、価格上昇が続く中、インバウンド回復の影響等から、前年を上回っている。

新車登録・届出台数は、半導体等の不足の緩和を背景に、受注残の減少や、納期の短縮が進んでおり、普通乗用車・小型乗用車で前年を上回っていることから、全体でも前年を上回っている。

主要小売店売上高



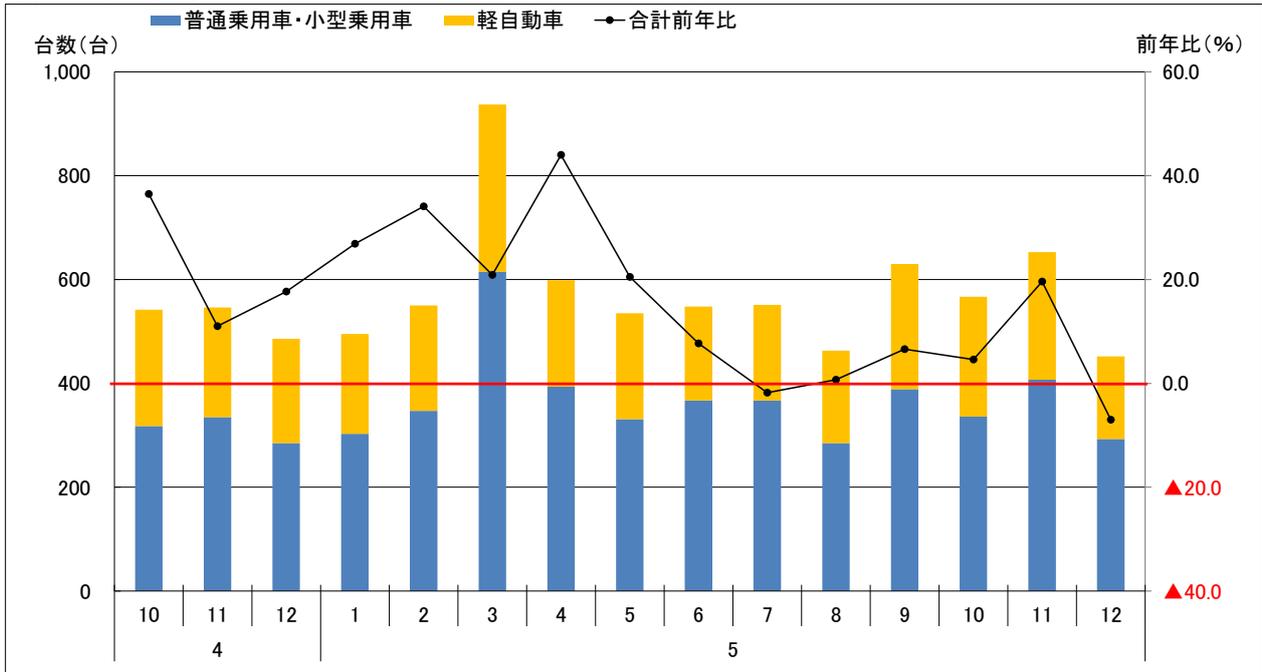
(単位: 百万円、%)

	合計		うち 飲食料品		うち 衣料品	
	前年比	前年比	前年比	前年比		
4年	42,815	0.5	27,965	0.6	1,337	0.4
5年	45,145	5.4	29,485	5.4	1,314	▲ 1.8
4. 10～12	11,431	5.4	7,304	5.2	404	2.4
5. 1～3	10,936	8.0	7,319	7.0	297	8.6
4～6	10,918	3.2	7,053	3.8	342	▲ 0.1
7～9	11,270	5.5	7,429	5.7	300	▲ 5.4
10～12	12,021	5.2	7,685	5.2	374	▲ 7.4
5年7月	3,816	6.9	2,496	7.8	113	▲ 8.6
8月	3,944	5.7	2,611	4.7	97	6.2
9月	3,510	4.0	2,322	4.8	89	▲ 12.0
10月	3,654	4.3	2,359	5.2	120	▲ 9.7
11月	3,740	5.9	2,341	4.1	123	▲ 3.6
12月	4,627	5.2	2,985	6.1	131	▲ 8.6

(資料) 北海道財務局小樽出張所

※主要小売店売上高は、令和4年7月に集計対象小売店が変更となったため、遡及可能な範囲で売上高及び前年比を再計算している。そのため、以前までの数字と連続しない。

新車登録・届出台数



(単位: 台、%)

	合計		普通乗用車・小型乗用車		軽自動車	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
4年	6,130	▲ 1.4	3,781	▲ 1.9	2,349	▲ 0.4
5年	6,980	13.9	4,434	17.3	2,546	8.4
4. 10～12	1,574	20.9	938	17.4	636	26.4
5. 1～3	1,982	25.8	1,265	25.4	717	26.7
4～6	1,682	22.9	1,092	33.0	590	7.7
7～9	1,644	2.0	1,041	2.8	603	0.7
10～12	1,672	6.2	1,036	10.4	636	0.0
5年7月	551	▲ 1.8	367	7.9	184	▲ 16.7
8月	463	0.7	285	▲ 4.7	178	10.6
9月	630	6.6	389	4.0	241	11.1
10月	567	4.6	336	5.7	231	3.1
11月	653	19.6	407	21.5	246	16.6
12月	452	▲ 7.0	293	2.8	159	▲ 20.9

(資料) 北海道財務局小樽出張所

個人消費に関する生の声

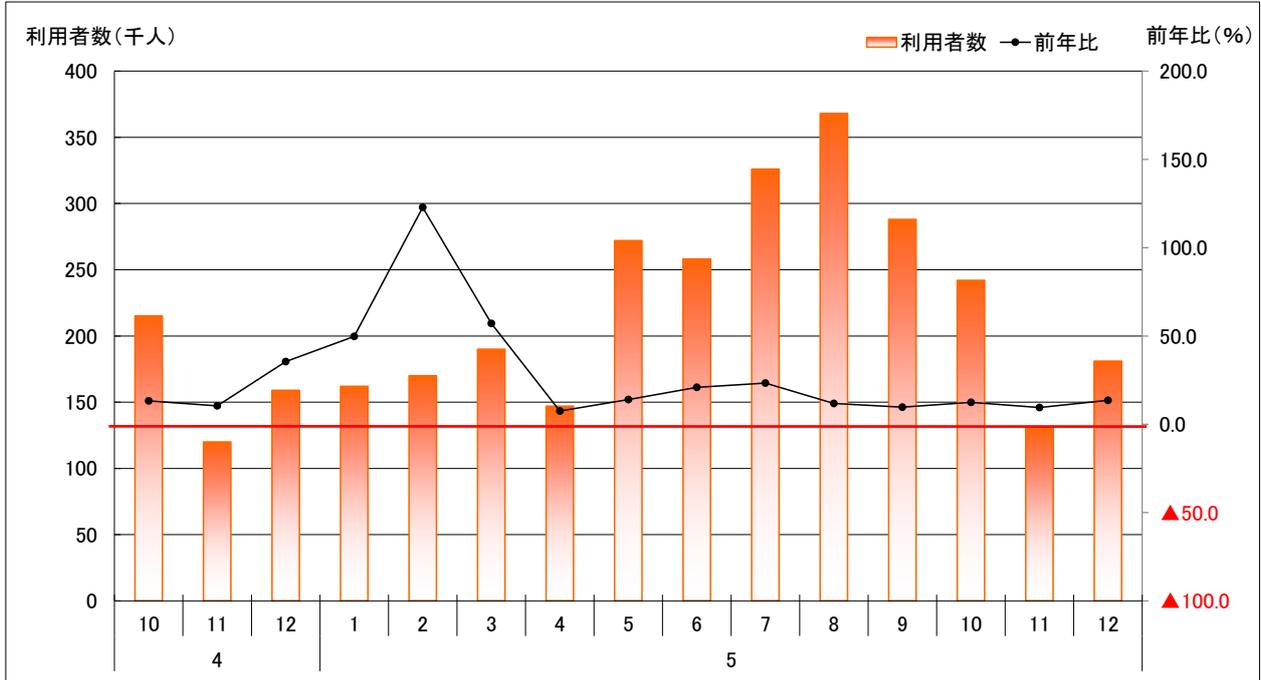
- ・国内外の観光客中心に惣菜(全般)、果物(カットフルーツ)、お菓子(スナック、珍味)の売れ行きが良かった。(小売店)
 - ・インバウンドが肉類、酒類、寿司を購入しており、時には合計3万円以上になることもあった。(小売店)
 - ・インバウンドや外国人従業員の来店客数は、コロナ感染症の5類移行により、コロナ禍前に戻ってきている。(小売店)
 - ・来店客数は、コロナ感染症の5類移行により、地元住民を中心に来店客数が増加したものの、イベント日のまとめ買いが多くみられることから、来店客の生活防衛意識の高さを感じている。(小売店)
 - ・半導体不足が緩和してきており、納期が短縮したことから、登録台数が伸びた。(乗用車販売店)
- 【先行き】
- ・インバウンド、外国人従業員がコロナ禍前に戻ってきていることから、1月以降も売上増加を期待している。(小売店)
 - ・1月以降も、半導体不足の緩和が続いていくことから、受注残は減少していくと考えている。(乗用車販売店)

【観光】

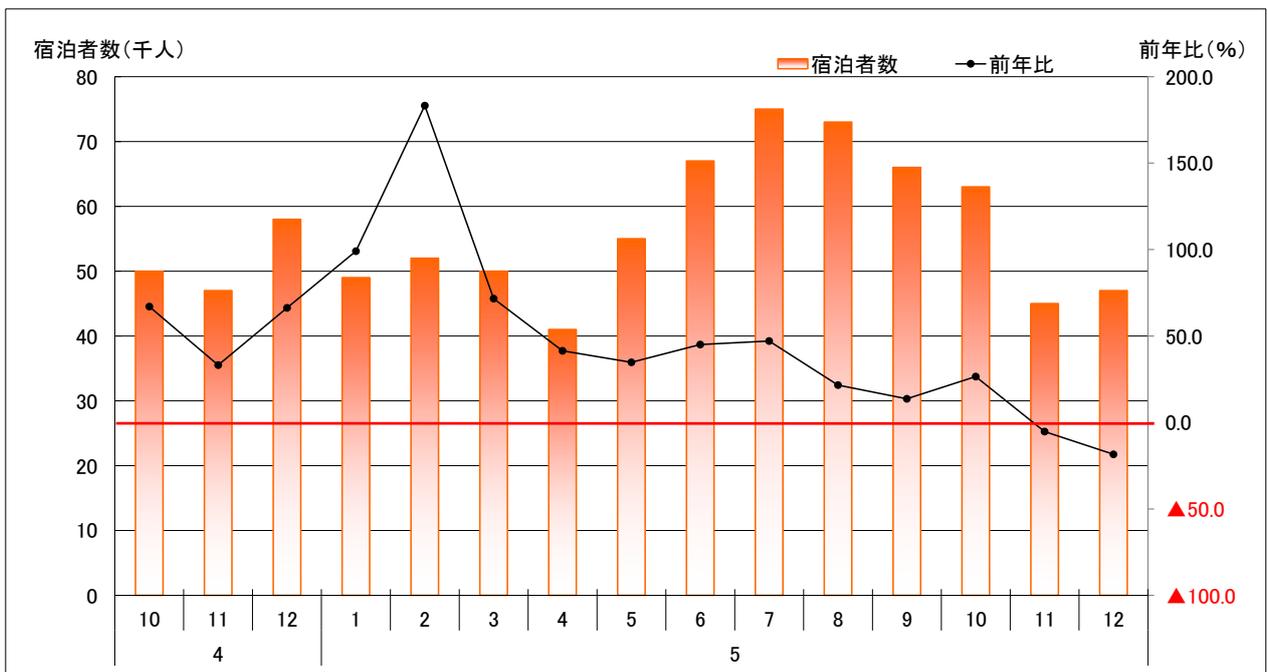
持ち直している

主要観光施設利用者数及び主要宿泊施設宿泊者数は、コロナ対策の緩和や円安により国内客及び海外客が増加したことから、前年を上回っている。

主要観光施設利用者数



主要宿泊施設宿泊者数(小樽市)



(単位:千人、%)

	主要観光施設 利用者数		主要宿泊施設 宿泊者数		
		前年比		前年比	
4年	2,246	62.2	512	93.8	
5年	2,736	21.8	683	33.4	
4. 10～12	495	18.8	155	54.8	
5. 1～3	523	70.9	151	2.1倍	
4～6	677	15.0	162	40.5	
7～9	982	14.7	214	26.6	
10～12	554	12.1	155	0.1	※3参照
5年7月	326	23.3	75	47.1	
8月	368	11.8	73	21.6	
9月	288	9.7	66	13.7	
10月	242	12.4	63	26.5	
11月	131	9.5	45	▲5.3	
12月	181	13.6	47	▲18.4	※3参照

(資料)小樽市、北海道財務局小樽出張所

※1.主要観光施設利用者数は、令和4年1月及び令和5年4月に集計対象施設が変更となったため、過去に遡って人数及び前年比を再計算している。そのため、以前までの数字と連続しない。

※3.主要宿泊施設宿泊者数は、通常小樽市内15施設を集計対象としているが、令和5年12月分は14施設で集計

※2.主要宿泊施設宿泊者数は、令和4年10月に集計対象施設が変更となったため、以前までの数字と連続しない。

観光に関する生の声

- ・コロナによる影響が弱まったことや円安だったことから国内客、インバウンドともほぼコロナ禍前の水準まで戻った。(宿泊施設)
 - ・国内観光客が一気に増えたほか、インバウンドも月を追うごとに増加した。例年、来館者数は11月には減少するが、今年は減少することなく予想以上に多かった。(観光施設)
 - ・観光客が増加した要因は、コロナ感染症対策の緩和が主だが、円安の影響により海外旅行しようとしていた人が国内に振り替えるといったことも挙げられる。(公的機関)
- 【先行き】
- ・インバウンドについては、個人客のスキー利用が前年に比べ増加傾向にあるほか、団体客についても2月末まで前年を上回って推移する見通し。(宿泊施設)
 - ・2月は中国や韓国などアジアからの観光客がさらに増加するものと見ている。来館者数はコロナ禍前を超えるだろうと思われる。(観光施設)
 - ・2月に向けて順調に予約が入っていると宿泊施設から聞いている。宿泊客数は前年に比べて増加し、コロナ禍前と同じ水準で推移する見込み。(公的機関)

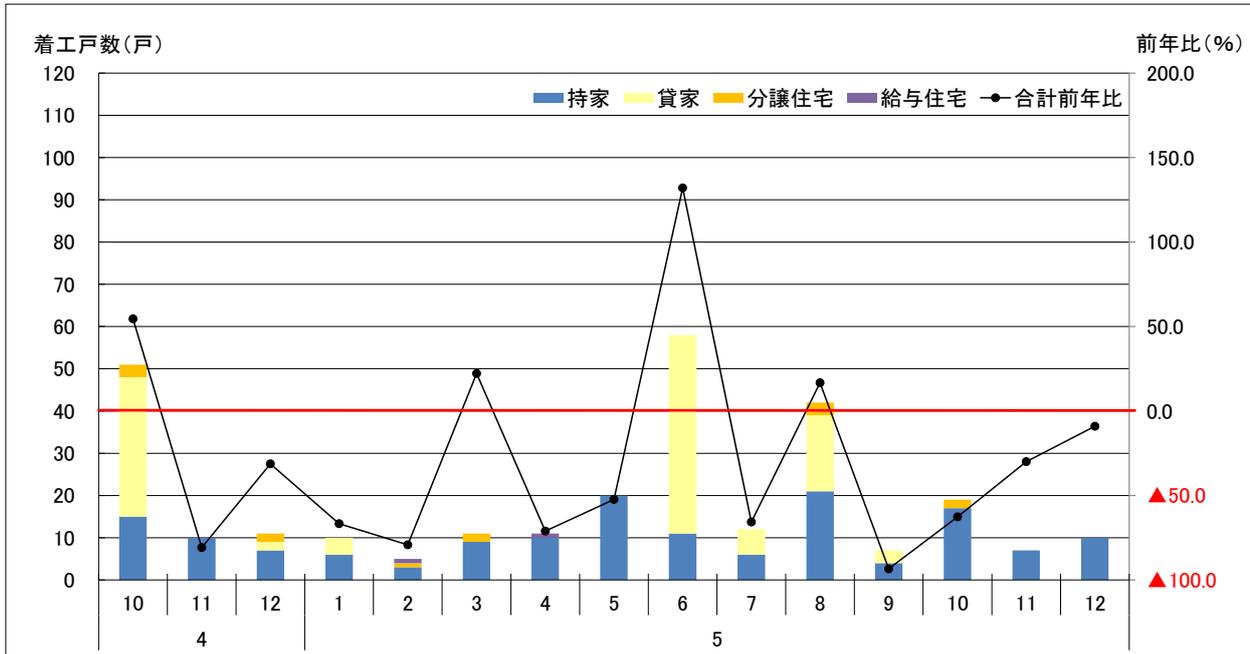
【住宅建設】

持ち直しの動きに一服感がみられる

小樽市の新設住宅着工戸数は、持家が前年を上回っているものの、貸家が前年を下回っていることから、全体でも前年を下回っている。

小樽市以外の後志管内の一部地域では、住宅建設は前年並みであるとの声が聞かれている。

新設住宅着工戸数(小樽市)



	合計		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
4年	417	▲ 14.5	163	▲ 23.8	226	▲ 5.8	2	皆増	26	▲ 23.5
5年	212	▲ 49.2	124	▲ 23.9	78	▲ 65.5	2	0.0	8	▲ 69.2
4. 10~12	72	▲ 28.7	32	▲ 37.3	35	▲ 22.2	0	0.0	5	0.0
5. 1~3	26	▲ 58.7	18	▲ 25.0	4	▲ 85.2	1	皆増	3	▲ 75.0
4~6	89	▲ 15.2	41	▲ 29.3	47	11.9	1	皆増	0	皆減
7~9	61	▲ 65.5	31	▲ 36.7	27	▲ 77.9	0	皆減	3	▲ 25.0
10~12	36	▲ 50.0	34	6.3	0	皆減	0	0.0	2	▲ 60.0
5年7月	12	▲ 65.7	6	▲ 68.4	6	▲ 50.0	0	皆減	0	皆減
8月	42	16.7	21	31.3	18	▲ 5.3	0	0.0	3	3倍
9月	7	▲ 93.4	4	▲ 71.4	3	▲ 96.7	0	皆減	0	0.0
10月	19	▲ 62.7	17	13.3	0	皆減	0	0.0	2	▲ 33.3
11月	7	▲ 30.0	7	▲ 30.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12月	10	▲ 9.1	10	42.9	0	皆減	0	0.0	0	皆減

(資料)国土交通省

住宅建設に関する生の声

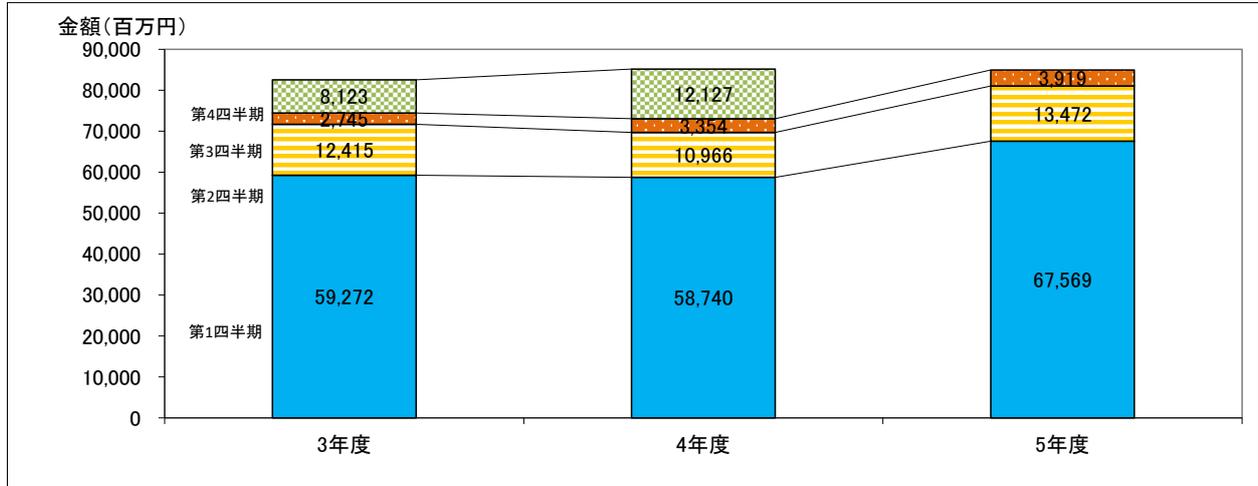
- ・持家は、資材等の価格高騰に伴う住宅価格の上昇、物価高騰による生活防衛意識の高まりから、動きが鈍かった。(建設会社)
- ・貸家は、資材等の価格高騰や、冬季工事の費用が高いことを理由に、不動産業者が建設を控えていることから、動きが鈍かったと考えている。(公的機関)
- ・住宅着工戸数が減少傾向であるものの、一部地域では、宅地造成された敷地に住宅建設が順調に進んでいる。(公的機関)

【公共工事】

前年を上回る

公共工事前払金保証請負金額は、前年を上回っている。

公共工事前払金保証請負金額



(単位:百万円、%)

	月間		累計(年度)	
		前年比		前年比
3年度	-	-	82,555	▲ 5.4
4年度	-	-	85,187	3.2
4. 10～12	3,354	22.2	73,060	▲ 1.8
5. 1～3	12,127	49.3	85,187	3.2
4～6	67,569	15.0	67,569	15.0
7～9	13,472	22.9	81,041	16.3
10～12	3,919	16.8	84,960	16.3
5年7月	6,458	3.0	74,028	13.9
8月	3,414	27.1	77,442	14.4
9月	3,599	79.4	81,041	16.3
10月	2,825	62.9	83,867	17.4
11月	642	▲ 12.1	84,510	17.1
12月	450	▲ 49.3	84,960	16.3

(資料)北海道建設業信用保証(株)

※1.公共工事前払金保証請負金額は、令和4年7月に集計方法が変更となったため、適及可能な範囲で再計算している。そのため以前までの数字と連続しない。

※2.四半期の数字は、端数の関係で単月3ヶ月の累計と一致しない。

【生産】

持ち直しつつある

生コン出荷状況は、官需及び民需とも前年を上回っていることから、全体でも前年を上回っている。

水産加工は、秋鮭の漁獲量減少による原料不足の影響から低調となっている。

金属・機械は、金属加工及び機械生産ともに需要の底堅さから堅調となっている。

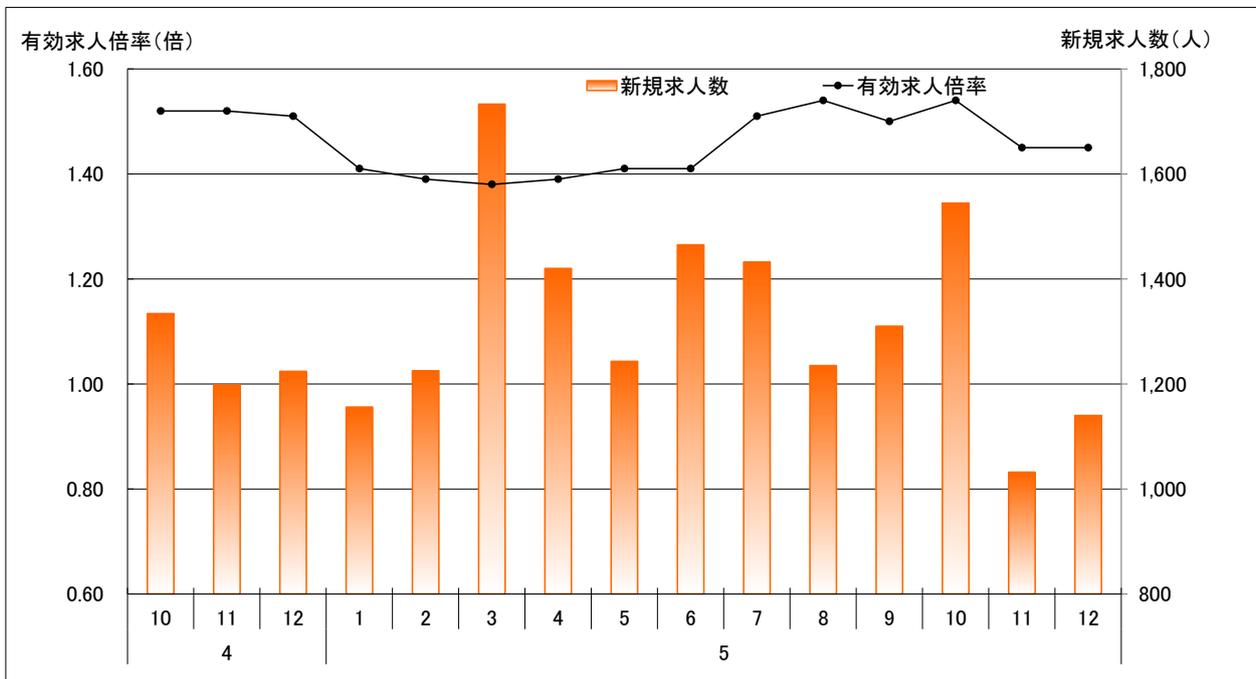
プラスチック・ゴムは、プラスチック製品が業務用食品包装材や土産物用包装材の需要の伸びにより順調であり、ゴム製品は需要の底堅さから堅調となっている。

【雇用】

緩やかに持ち直している

有効求人倍率及び新規求人数は、前年をやや下回っている。

有効求人倍率(常用・原数値)、新規求人数



(単位:人、%、倍、ポイント)

	有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率		新規求職者数		新規求人数	
		前年比		前年比		前年差		前年比		前年比
4年	31,906	▲ 7.9	42,511	15.6	1.33	0.27	7,098	▲ 4.1	15,226	15.7
5年	31,493	▲ 1.3	45,540	7.1	1.45	0.12	6,992	▲ 1.5	15,935	4.7
4. 10~12	7,494	▲ 9.5	11,361	14.7	1.52	0.32	1,526	▲ 6.8	3,756	12.6
5. 1~3	7,769	▲ 2.9	10,812	14.0	1.39	0.21	2,032	7.1	4,114	12.9
4~6	8,532	▲ 3.0	11,983	9.9	1.40	0.16	2,047	▲ 2.6	4,128	5.5
7~9	7,721	1.4	11,706	8.7	1.52	0.11	1,488	▲ 5.4	3,977	1.7
10~12	7,471	▲ 0.3	11,039	▲ 2.8	1.48	▲ 0.04	1,425	▲ 6.6	3,716	▲ 1.1
5年7月	2,591	2.9	3,920	14.2	1.51	0.15	480	4.6	1,432	24.7
8月	2,571	1.1	3,949	10.1	1.54	0.13	498	▲ 8.8	1,235	▲ 0.2
9月	2,559	0.1	3,837	2.4	1.50	0.03	510	▲ 10.2	1,310	▲ 14.2
10月	2,547	▲ 1.4	3,910	▲ 0.7	1.54	0.02	518	▲ 9.0	1,544	15.7
11月	2,518	▲ 0.6	3,649	▲ 4.9	1.45	▲ 0.07	497	▲ 5.7	1,032	▲ 13.9
12月	2,406	1.2	3,480	▲ 3.0	1.45	▲ 0.06	410	▲ 4.7	1,140	▲ 6.9

(資料)小樽・岩内公共職業安定所

※本指標は常用と常用パートの合計である。

雇用に関する生の声

・コロナが落ち着いたことで、コロナ禍前と同様の診療や介護体制を整えることができるようになった医療・福祉関連や、インバウンドが増加したことによる宿泊業や道路旅客運送業の求人が増えている。(公的機関)

・新規求人数が減少している理由の一つは、求人者がハローワークを通さずに独自に募集していることによるものではないかと考えられる。(公的機関)

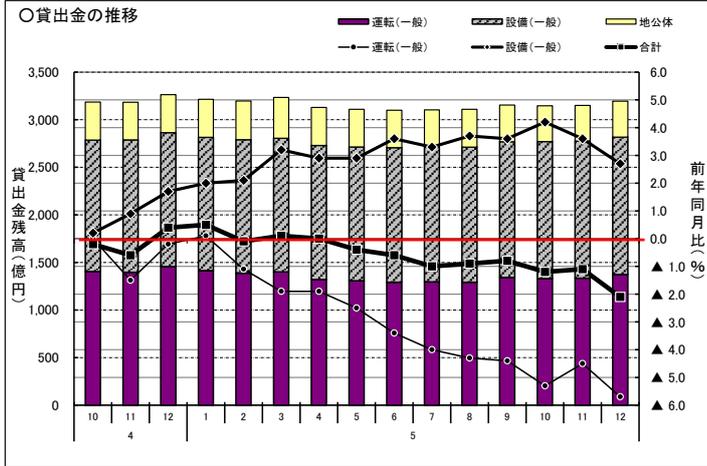
・現在、ハローワーク以外にも人材紹介会社で中途採用の募集をかけており、何人が採用している。(建設会社)

参考

【金融】

貸出金残高は前年を下回る

金融(貸出金)

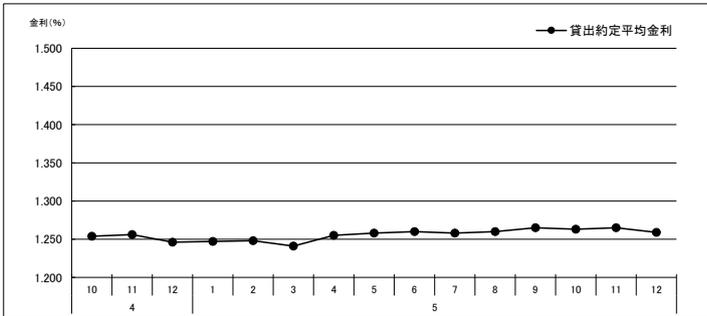


(資料)北海道財務局小樽出張所

	金額(百万円)				前年比
	設備(一般)	運転(一般)	地公体	合計	
4年3月	136,218	142,726	44,088	323,032	▲ 0.9
5年3月	140,567	140,064	42,774	323,405	0.1
5年7月	141,567	129,446	39,365	310,378	▲ 1.0
8月	142,202	129,123	39,565	310,890	▲ 0.9
9月	142,876	134,115	38,416	315,407	▲ 0.8
10月	143,990	133,054	37,610	314,654	▲ 1.2
11月	144,239	133,360	37,412	315,011	▲ 1.1
12月	144,548	137,293	37,712	319,553	▲ 2.1

(注) 1. (一般)は法人及び個人向けの貸出である。
2. 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫である。

金融(貸出約定平均金利)



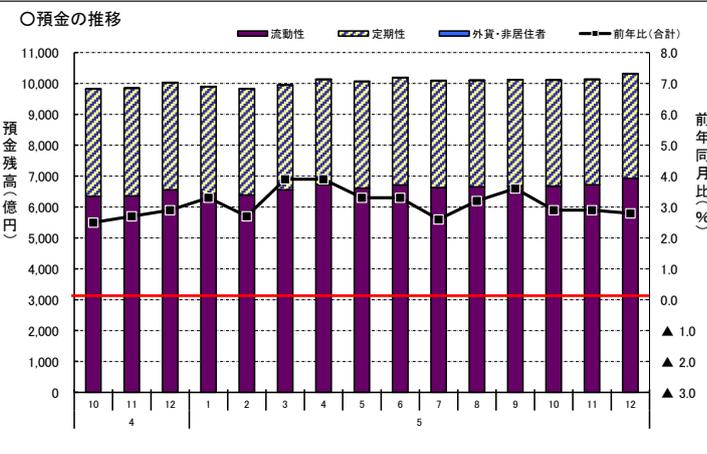
(資料)北海道財務局小樽出張所

	金利(%)	前年差(Pt)
4年3月	1.243	▲ 0.033
5年3月	1.241	▲ 0.002

	金利(%)	前月差(Pt)
5年7月	1.258	▲ 0.002
8月	1.260	0.002
9月	1.265	0.005
10月	1.263	▲ 0.002
11月	1.265	0.002
12月	1.259	▲ 0.006

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

金融(預金)



(資料)北海道財務局小樽出張所

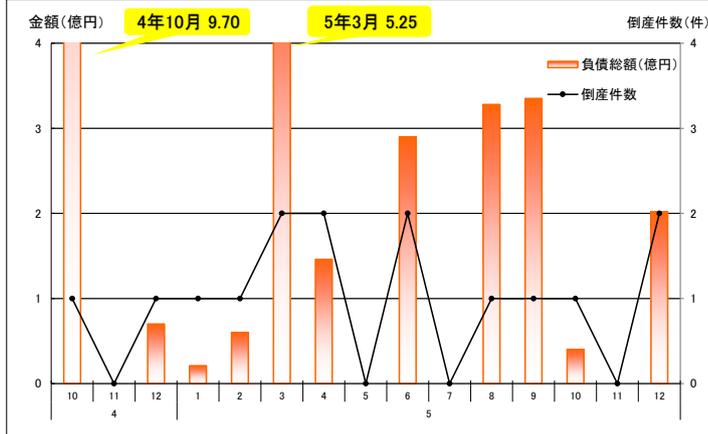
	金額(百万円)				前年比
	流動性	定期性	外貨・非居住者	合計	
4年3月	611,513	344,747	1,249	957,509	1.5
5年3月	656,075	338,233	772	995,080	3.9
5年7月	663,001	345,994	828	1,009,823	2.6
8月	665,240	344,829	783	1,010,852	3.2
9月	668,684	343,104	596	1,012,384	3.6
10月	667,683	342,921	625	1,011,229	2.9
11月	671,907	341,139	646	1,013,692	2.9
12月	693,259	338,205	607	1,032,071	2.8

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

【企業倒産】

件数は前年を上回ったものの、負債総額は前年を下回る

企業倒産(負債総額1千万円以上)



(資料)株式会社東京商エリサーチ

	倒産件数(件)	前年比	負債総額(百万円)	前年比
4年	6	▲ 45.5	1,666	14.0
5年	13	2.2倍	1,947	16.9

4. 10~12	2	2.0倍	1,040	24.8倍
5. 1~3	4	2.0倍	606	2.0倍
4~6	4	2.0倍	436	34.2
7~9	2	皆増	663	皆増
10~12	3	50.0	242	▲ 76.7

5年7月	0	0.0	0	0.0
8月	1	皆増	328	皆増
9月	1	皆増	335	皆増
10月	1	0.0	40	▲ 95.9
11月	0	0.0	0	0.0
12月	2	2.0倍	202	2.9倍

お問い合わせ先

財務省 北海道財務局

小樽出張所 財務課

〒 047-0007 小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎

TEL 0134-23-4103

E-mail HKZJOTARUZAIMU@hk.lfb-mof.go.jp